

代 表 質 問

3人の議員が

町政を問う



QRコードをスマートフォンで読み取ると、質問の動画をご覧いただけます。

代表質問は当初予算案を審議する会議で町長または教育委員会の施政方針および財政一般にわたる事項を会派の代表が行う質問です。

※1人の持ち時間は45分、質問の回数は3回までとしています。

※会派は、政策を中心に考えの同じ議員で構成しており2人以上が属する会派が代表質問をすることができます。

質問者（登壇順）	質問事項（通告順）	掲載ページ
政策研究会紫波 熊谷育子	○ 紫波中央駅東口の整備と周辺のまちづくりについて	P15
新政会 細川久	○ 姉妹都市交流の進展について ○ ふるさと納税の推進について ○ 森林整備について ○ 歴史文化を生かした観光について	P16
日本共産党紫波町議団 細川恵一	○ 農業政策について ○ 有害鳥獣対策について	P16

紫波中央駅
東口整備

考え方とスケジュールを住民に示せ

〔答〕 計画策定に当たり声を聞いていく



政策研究会紫波
くまがいくこ
熊谷育子 議員

町長 令和6年度に都市基盤整備事業の計画を策定する予定であり、考え方としては、紫波町公民連携基本計画で定める、「日詰西地区」、「日詰商店街地区」、「紫波中央駅前地区」をつなぐ役割と地域の特性を生かしつつ既存計画との整合を図り計画策定する。

問 中央駅東口整備について東日本旅客鉄道株式会社と設計協議に入る予定と聞くが、整備の考え方とスケジュールは。

問 整備に考慮していることや、住民の意見を聞く予定はあるか。

建設部長 策定に当たりワークショップを行い住民の声を聞いていきたい。

問 中央公民館の維持対策をどのように考えているか。

教育長 町民ニーズに応じた公共施設を目指し、長期展望に立った改修・リニューアルの指針策定に向け研究していく。



紫波中央駅正面

代表質問

交流人口

訪れ、滞在する人増やせ

答 観光事業創出に向け検討

問 町は姉妹都市として、東京都日野市、福島県古殿町、オーストラリアサザンダウンズ市と交流している。

相互に文化、産業、経済交流を図ることで、交流人口の増加が図れるのでは。

町長 古殿町とは、産業まつりへ特産品の販売。日野市とは、日詰出身の異聖歌（名誉町民）との縁。サザンダウンズ市とは中学生の国際交流派遣を実施

している。町と姉妹都市の市民が相互に想いを寄せ合える関係を築き、それぞれの魅力を生かし交流を深めていく。

問 歴史と文化を生かす、町を訪れ滞りする人を増やす取り組みを進めてはどうか。

町長 「酒のまち」を標榜している。また、

町内には歴史的遺産、顕彰施設、郷土芸能、神社仏閣などがある。都市と農村を併せ持つ町の景観は、十分に魅力に溢れた観光資源と捉える。町内を堪能できる観光事業の創出に向けた取り組みを検討していく。



新議会
ほそかわ ひさし
細川 久 議員



紫波町を楽しんでケロ
白山神社(赤沢)

農地の10年後を示せ

答 地域計画と農地バンクの活用が必要



日本共産党紫波町議団
ほそかわけいichi
細川恵一 議員

問 「地域計画」が令和7年3月までに求められている。農地バンク事業が地域計画に位置付けられた。町内の農地の担い手の現状を分析した時に「地域計画」が農業の維持・発展を目指すことができるのか。

町長 地域計画は、10年後の農村環境の保全を考えていくことが大切であり、農地の集積と農業の規模拡大だけが目的ではない。農業所得の向上のためにコストの削減が必要であり、地域計画の策定と農地バンクの活用は農業の維持・発展につ

ながるものと捉えている。

問 6年度における町の有害鳥獣対策の事業の取り組みは。

町長 これまで取り組んできた対策に加え新たに4つの事項に取り組む。専門家のアドバイスの積極的な活用、有害鳥獣サポート隊の活動支援の強化、農地への侵入防止柵の設置促進と緩衝帯の整備促進、地域ぐるみによる有害鳥獣対策のため、地域おこし協力隊を環境課へ一人配置することにより、対策をさらに強化する。



来ないでケロ

